

「顔の見える関係」から「手をつなぎ合える関係」をめざして

ことう地域チームケア研究会 たより

令和1年9月27日発行

第40回 ことう地域チームケア研究会を開催しました

- ◆開催日時: 令和1年9月14日(土) 14:00~16:00 (会場:くすのきセンター)
- ◆担当団体: 彦根愛知犬上介護支援専門員連絡協議会・市町地域包括支援センター
- ◆参加者: 93名 (医療福祉職・関係機関 72名、地域の方(民生委員・児童委員・自治会関係者) 21名)

お忙しい中、多くのご参加ありがとうございました。

チーム結成
6周年
記念企画
第2弾

新たな時代の

連携を語ろう!

PART2

地域包括ケアシステムを支える

「地域の力」



今年5月に開催した『新たな時代の連携を語ろう!地域包括ケアシステムを支える「医療・介護・福祉の力」』に続く第2弾。今回は、「地域の力」をテーマに、はじめて彦根市、愛知郡、犬上郡より、21名の地域の住民の方々をゲストに迎えて開催しました。

《今回の研究会のねらい》

- 地域での取組・資源など「地域の力」や活動する方の思いを知ることを通して、「自助・互助」「地域づくり」についての理解を深め、専門職としてのかかわりを考えることができる。
- グループワークや発表を通じて、互いに顔の見える関係性と連携を深め合おう。

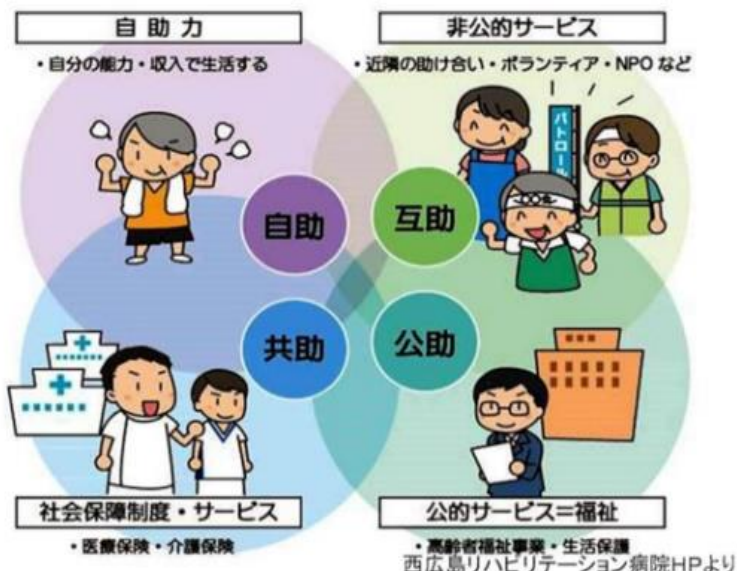
話題提供その1

「自助・互助ってなに? 地域づくりってなに?」
ケアプランセンターどりーむ
介護支援専門員(ケアマネジャー) 辻広美さん

「地域包括ケアシステム」の定義 (厚労省)

地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域で、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制

自助・互助の時代



地域づくり

「安心して、いきいきと暮らせる住みよい地域社会を構築するため、住民が主体となって地域課題を解決していく活動や取り組み」のこと

三つの要素

- ①「暮らしのものさし」をつくる地域づくり = 「主体」づくり
- ②「暮らしの仕組み」をつくる地域づくり = 「場」づくり
- ③「カネとその循環」をつくる地域づくり = 「条件」づくり

地域をつくるには「社会資源」がとても重要に



まず、身近な地域の中にあるたくさんの社会資源(様々なちから)を知りましょう。

地域での活動について報告していただきました。ありがとうございました。

①自治会での住民主体の活動

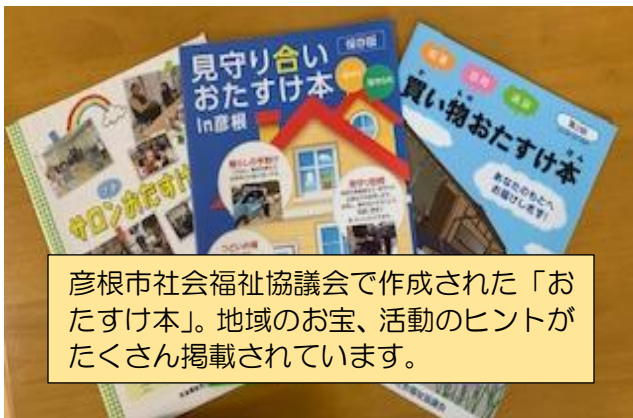
サロン「ほほ笑み庵」の活動について

彦根市松田団地（親和会） 鹿山健三さん
彦根市社会福祉協議会（地域支え合い推進員）
田中良樹さん



「ほほ笑み庵」

- ◇サロン開始：平成 30 年 10 月 15 日
- ◇開催日：第 3 月曜日 10 時から 15 時
- ◇場所：松田団地（自治会館）
- ◇参加費:100 円 ◇参加人数：10～20 名
- ◆老人会（親和会）の毎月の定例会はあるが、会員でない方にも出てきやすい場を作ろうと思ったのがきっかけ。◆口コミで参加者が増えてきている。
- ◆何か特別なレクレーションを企画するわけではない。集まる場とお茶とお菓子を準備。
- ◆それぞれが好きな時に来て好きな時に帰れる場。
- ♡この場を長く続けていけるようにしたい。
- ♡高齢者だけでなく、子供から若い世代の方にも来てほしい。子育て世代の息抜きの場にもなればよいと思っている。



彦根市社会福祉協議会で作成された「おたすけ本」。地域のお宝、活動のヒントがたくさん掲載されています。

②民生委員・児童委員の活動について

彦根市民生委員児童委員協議会連合会
菊地美和子さん 伊藤和夫さん



- ◆民生委員・児童委員とは
- ◆滋賀県・彦根市の民生委員・児童委員の現状
- ◆民生委員の活動（7つのはたらき）等

民生委員さんの日々の活動や思い等について、パンフレットや資料をもとに、ご報告いただきました。



今回は彦根市での取組を紹介していただきましたが、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町においても住民の方々が主体となり、その地域の実情に合わせて特色のある取り組みが活発に行われています。湖東地域にはお宝がいっぱいです！身近な地域の社会資源を知り、つながっていきましょう！

一人ひとりが地域の力！わたしたちにできること

グループ交流会



今回ご参加いただいた 21 名の地域の皆様と、彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町の各地域包括支援センターの担当するエリアで 10 グループにわかれて、話題提供の感想を出し合ったり、地域の方からは具体的な活動内容、思い等をお聞きしました。どのグループも活発な意見交換が行われていました。

貴重なご意見、本当にありがとうございました。(一部をご紹介)



地域の支え合い

「支える側」、「支えられる側」と分けてしまわない地域の支え合いを。みなそれぞれにできることはある

障害者の地域でのつながりづくり

同じ障害を持った方の集まりにしか参加できていない状況もある。

認知症の方の見守り・支援について

地道な信頼関係づくり、認知症への理解が必要。

「見守り合い・支え合いができる」「孤立しない・させない」～そのために今からできること～

- ・地域の会への参加（若い世代から）
- ・自分の住んでいる近所に関心をもつ
- ・困った時に誰に相談するとよいか（情報を得られる人）をわかっておく

介護サービスの利用と地域でのつながり

地域住民とのつながりを保ちながら、専門職が必要などころにうまく関わり、連携して支援出来たらよいと思う。（サロンとデイサービスのことなど）

互いを理解し合うことから

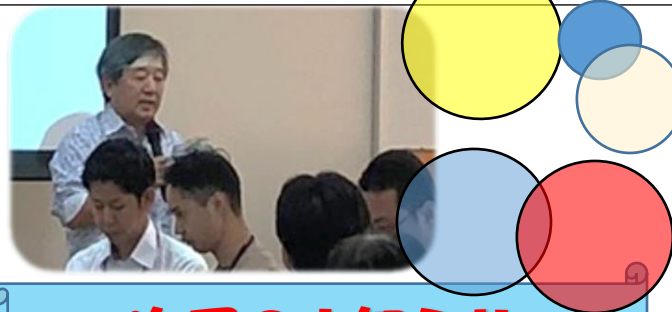
互いの活動・役割を理解し合うことが、地域でのつながりの第一歩。話し合いの場を持ち、苦労や悩みももっと出し合えたらよいと思う。

「目からうろこ」

地域の皆さんと話をして、これまで医者と患者という関係性での地域とのつながりだったのだと感じた。今回のことをきっかけに地域の中の一住民として、なにができるのか考えてみる事ができた。

「一人ひとりが3つのサークル（輪）を作っていこう！」

例えば、仕事関係の輪、趣味での輪、ご近所の輪、等々…、誰かと、どこかと、つながる輪を一人ひとりが持っている、そこから共通の知り合いの輪が見つかったりして、地域の中で人と人との輪が自然に広がっていくんじゃないかなと思います。



次回のお知らせ

日時：令和元年 11月14日(木) 18:30～20:30

会場：くすのきセンター1階

テーマ：「意思決定支援について」寸劇あり!

～ACP（アドバンス・ケア・プランニング）～

担当団体：訪問看護ステーション連絡協議会・湖東圏域4病院相談支援部門・湖東健康福祉事務所

* 研究会は申込み不要です。当日会場へお越しください

* 問い合わせ先：ことう地域チームケア研究会事務局

彦根愛知犬上介護保険事業者協議会 (TEL 49-2455)

彦根市医療福祉推進課 (TEL 24-0828)

ホームページで研究会の情報をご覧ください
ます。「在宅医療福祉情報の森」で検索

お知らせメールの登録をお願いします。

研究会の開催状況や次回のご案内をメールでお知らせします。
ご希望の方は、「①お名前 ②ご所属 ③ひと言」をいれて下記にメール送信してください。

☆ことう地域チームケア研究会事務局
(E-mail) info@gen-ai-ken-kaigo.jp

今回参加された医療福祉専門職・関係機関の方の所属事業所(順不同・同意を得た事業所様を掲載)

【病院・診療所】松木診療所・中西医院・上林医院・横野医院・彦根市立病院・豊郷病院・彦根中央病院 【薬局】野の花薬局・疋田調剤薬局・リリー薬局 【訪問看護】レインボウひこね【居宅介護支援事業所】JA 東びわこ愛あいステーション・近江ふるさと会・よもぎの里・ケアプランセンターどりーむ・ケアプランセンターわかば・ケアマネジメントセンターライフ・ゆりの木ケアプランセンター・友仁ケアプランセンター・有限会社めいせい・ニチイケアセンター彦根・マックスひこね・あったかケアプランセンター【介護サービス事業所】鈴木ヘルスケアサービス・愛荘町社会福祉協議会・まごころ友仁・株式会社トーカイ・喜房会・デイサービスさくら・株式会社ヤマシタ【地域包括支援センター】愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町・彦根市(いなえ・きらら・ゆうじん・ひらた・すばる・ハピネス) 【行政関係・医療福祉関係団体】多賀町(福祉保健課)・彦根市(医療福祉推進課・健康推進課)・湖東健康福祉事務所(彦根保健所)・彦根市社会福祉協議会・彦根学園・花かたばみの会・滋賀県歯科衛生士会【その他】市議会議員・ケーエスケー・スズケン・薬学部学生

こんなこと思いました 第40回参加者アンケートより

地域の皆様(民生委員児童委員、自治会の方)の声

【話題提供について】

- ・今後の参考になりました。
- ・あらためて「地域」という視点から考えられた。
- ・専門職の皆さんの話をもう少し聞きたかった。
- ・新たな知識を多くの地域から聞かせていただいた。
- ・初めて聞く内容もありよかった。
- ・サロンの大切さ、立ち上げ方など知りいろいろな機関のつながりを大事にしたいと思った。
- ・民生委員の話を専門職の方がよく聞いて下さった。
- ・発表の機会を与えていただきよかった。専門職の方が感じている課題が知れてよかった。
- ・介護サービスを受けられると、コンタクトが弱くなっていたと自戒することがありました。

【もっと知りたいこと・ご意見など】

- ・情報開示について聞く機会があればよい。
- ・サロンづくりと見守り合いという二つのテーマは根が同じところと、共に対象とする人が少し違うのではないだろうか。きめ細かい議論、検討が必要。
- ・認知症について知りたい。
- ・少子高齢化が進み、人口減となる中で福祉のフレームも再構築する必要があると思う。
- ・特にサロンのことが役に立ちそうだった。
- ・民生委員では考えられなかったことをいろんな専門職の人に聞かせてもらった。自分たち(民生委員)では考えたことがないことをもっと聞かせてもらいたい。
- ・このような会を持つための打ち合わせをもっと早くしたらどうでしょうか。

【意見交換について(グループ交流会)】

- ・初めていろいろな職種の方の意見を聞いて良かった。
- ・いろいろな仕事についておられる方の協力をいただき支えられながら今の仕事を頑張っていきたいと思った。
- ・専門職の話をもっとききたかった。
- ・地域へ持ち帰り参考にさせていただくことも多かった。
- ・お医者さんとも話し合えてよかった。
- ・時間が少なすぎた。専門職から見て今何が大きな課題かをもっと突っ込んで聞きたかった。
- ・地域のことを知ることは大変で、いろいろお世話になっており、これからも頼りにしたい。
- ・民生委員のことを少しは理解いただけたかな。
- ・民生委員の活動を専門職の方が興味深く聞いてくださった。いろいろな専門職のいろんな話を地域の皆さんにも聞いてほしいと思った。
- ・各職種での苦勞話が聞けた。
- ・ケアマネジャーの話が聞いて良かった。病院の先生の話が心に残った。サロンとデイサービスの在り方を考えたいと思った。
- ・視覚障害の方へのコンタクトが不十分であると感じた。



医療福祉専門職の声

【話題提供について】

- 事例の紹介がとても分かり易かった。
- 地域包括ケアの大切さとサロンの状況と考えを聞いて良かった。
- 他地域の活動をなかなか聞く機会がないため良い内容を取り入れることも必要と感じた。
- 民生委員の活動を知ることができ、参考になった。
- 民生委員さんはたくさんの仕事をボランティアで対応して下さっていて感謝しています。
- なかなか聞くことのできない話で興味が持てた。
- 地域住民の思いを聞かせてもらえた。
- 私たちができること、すべきことを考えさせられた
- 地域づくりが必要となっている背景も含めてよく理解できた。

【もう少し知りたいこと、意見等】

- 民生委員の方の役割をもっと時間をかけてしっかり聞きたかった。
- 地域の支え合い等の力をケアプランに入れていく。
- 大変有意義でした。ありがとうございました
- 彦根市社協作成の「お助け本」すばらしい！参考にしたい。
- サロンのお話はあったが、宅老所についても知りたい

【意見交換について(グループ交流会)】

- いろいろな視点を知ることができた。
- それぞれの職種や民生委員さんの生の声を聴き、共に考える場になった。
- 他市町の状況について現状、取組について学べた。
- いろいろな立場の方が集まったグループであったため、それぞれの立場、一住民としての考えやできること、また課題も見えてよかった。
- 地域の生の声を聴かせていただき、それを他の専門職の方とも共有できた貴重な場だった。
- 専門職である前に地域住民として自分自身に新たに気づきを得られた。
- 自身が地元で何ができるのかを考える機会となった
- 内容を深めるまでの時間がなかった。民生委員さんの生の声が聞いて良かった。
- 民生委員さんの熱心で工夫のある活動を聞くことができ参考になった。
- 再度担当エリアを考え直すきっかけになった。
- 自分の知らない方を知ることができた。
- 障がいの相談支援員の方の話を聞くことができ、高齢者とはまた違った地域での立ち位置を知れた。
- かかわりのある地域の方の話が聞いてよかった。
- 一住民としてできること、住民さんとつながることや民生委員さんの働きの大切さを改めて感じた。
- 民生委員の方はボランティアで住民のために頑張ってくださっていて嬉しいと思った

【地域づくりについて理解を深めることができましたか】

- 人は一人では生きていけない。困った時に誰かに頼る。「助けて!」ということができる地域をお互いに助け合い・支え合いながら作っていくことが大切だと考えさせられた。
- 問題が深刻になりすぎることを未然に防ぐためにも、見守り合いや日頃から声掛けなどのつながりが必要。そのためにも自助・互助・地域づくりが重要と思いました。
- 地域資源を知ることによって地域の力を発揮することができる。もっともっと知りたい。
- 住民さんからの話がとても実感があリ参考になった。
- もう少し具体的にどうしていければよいかということも話せたらよかった。
- 理解はできているが、どのようにすすめていけばいいかまだわからない。
- 主体は地域で生活する人。そのことを気付くことができる企画だった。キックオフ。



【地域づくりについて、専門職としてのかかわりを考えることができましたか】

- 地域で得た情報を地域包括支援センターや民生委員さんと共有し、考えることができると、より地域住民の方が安心して暮らせるまちづくりが行っていただけるのだということを感じた。
- 地域を知ることが大切だと思った。
- 積極的にサロンに見学に行きたいと思った。
- 地域で活動されている住民さんや団体の方とつながり、「ヒト・モノ・カネ・情報」の面でサポートや協力できることを1つでもしたい。
- 民生委員さんに、ケアマネジャーとして関わっていることを知ってもらえるように、自分からも働きかけていくことが大切だと思った。